



事務連絡

令和8年4月吉日

各施設長 様

社会福祉法人日本肢体不自由児協会  
心身障害児総合医療療育センター  
療育研修所

第1回教育現場での気がかりな子どもの理解と支援講習会 開催について  
-発達障害を学び直そう-

標記の講習会を下記により開催いたしますので、ご案内いたします。

令和7年7月16日付公表の文部科学省初等中等教育局特別支援教育課実施「令和5年度通級による指導実施状況調査」の調査結果では、令和5年度に通級による指導を受けている児童生徒数は全体で203,376人(前年度比5,033人増)、公立小学校で166,403人(前年度比1,835人増)、公立中学校で34,393人(前年度比2,878人増)、公立高等学校で2,327人(前年度比314人増)であり、小学校・中学校・高等学校の全てにおいて前年度より増加し、公立学校に限って通級指導の児童生徒がいる割合をみますと小学校76%、中学校51%、高校12%とされています。

通常級において何らかの発達の課題があり、支援が必要な児童生徒が数多く存在し、増加し続けているため特性の理解、特性に応じた支援や配慮を理解しておくことが教育関係者に求められています。

本講習会では、1日目は講義を通じて発達に課題がある子どもの特性の理解を深めます。また、この講習会では講義だけではなく2日目にグループで検討する、ディスカッションをする機会を設けています。教育現場では一人に対応することが多く判断に迷うことや、他の方の子どもへの捉え方、対応方法や実践を知ることや共有することも少ないかと思われます。参加者同士での話し合いを通じて、実践的な知識を共有することやネットワークを作る機会になると考えられます。

改めて知識を整理したい方、発達障害についての学び直したい方など教育に携わる方の幅広いご参加お待ちしております。

記

1. 目的

本講習会は、発達に課題がある児童・生徒の特性、対応方法や支援についての理解を深めること。

2. 期間

令和8年7月24日 (金) ～ 令和8年7月25日 (土)

3. 会場

心身障害児総合医療療育センター療育研修所

4. 定員

60名 (原則1施設2名までとし、3名以上は要相談)

5. 受講資格

学校教育に関わる教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭等

6. 受講費

16,500円

7. 添付書類

講習会要領(別紙1)、講習科目・日程(別紙2)

8. 申込方法

受講希望者は下記URLへアクセスし、受付フォームよりお申し込みください。受付後に確認のメールをお送りします。メールが届かない場合は下記まで電話にてお問い合わせください。

(先着順、定員になり次第締め切り)

締切期日： 令和8年7月9日 (木)

URL： <https://forms.gle/fUoHgAfxevTb11ka6>

QRコード：



9. お問い合わせ先

心身障害児総合医療療育センター療育研修所

TEL：03-5965-1136(直通) Mail：kenshoo@ryouiku.or.jp

ホームページ：<https://www.ryouiku-net.com>

以上

別紙1

第1回教育現場での気がかりな子どもの理解と支援講習会  
-発達障害を学び直そう-

要綱

1. 期間

令和8年7月24日 (金) ~ 令和8年7月25日 (土)

2. 会場

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-10  
心身障害児総合医療療育センター療育研修所  
東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」3番出口より徒歩10分  
(公共交通機関利用での通講をお願いいたします)

3. 定員

60名 (原則1施設2名までとし、3名以上は要相談)

4. 講習内容

講習会の講習科目、時間数、講師氏名等は別紙2の通り

5. 受講費等

受講費

16,500円(税込)

宿泊費

6,160円/泊(税込)

募集締切後に送付する「申込受付について」記載の金額をお振り込みいただき、振込手数料(返金の場合も)の負担は参加者(施設)負担とします。

キャンセル返金については 令和8年7月21日(火) までの申出頂いた場合、返金いたします。期日以降のキャンセルにつきましては講習会終了後に資料を送付いたします。

6. 宿泊

研修所の宿泊室はシングルルームで16室、計16名が定員です。宿泊を希望される場合は申込書の欄に記入して下さい(各部屋には風呂・トイレはありません)。

前泊をされる受講者につきましては16時30分より施設説明を行いますのでお時間までに療育研修所までお越しください。

なお、講習会最終日の宿泊はできません。コンビニ等につきましては小竹向原駅周辺にございます。

7. 食事

2階食堂に共用の冷蔵庫・電子レンジがございます。食堂での飲食の際は黙食のご協力をお願いいたします。

## 8. 感染対策

当センターは医療機関のため、施設内でのマスク着用をお願いしております。発熱や体調不良の方は御参加いただけませんのでご了承ください。

## 9. その他

- I 全期間受講可能な方のみお申込みいただきますようお願いいたします。
- II 各日講習会の受付は開始30分前より行います。
- III 実習は参加者同士が密着しないように行います。また、支障のない服装をご用意下さい。更衣室がありますが、スカートでの実習はご遠慮下さい。
- IV 講義室内は冷暖房を使用しておりますが、座席によっては効きの悪い箇所がございます。各自調整できる服装にて受講をお願いいたします。
- V ご不明点につきましては下記にお問合せをお願いいたします。

心身障害児総合医療療育センター療育研修所

電話 03-5965-1136(直通) FAX 03-3959-7648(直通)

メールアドレス kenshuu@ryouiku.or.jp

以上

別紙2

第1回教育現場での気がかりな子どもの理解と支援講習会  
 -発達障害を学び直そう-

日程表

令和8年7月24日 ~ 令和8年7月25日

日時	午前	午後
7月24日 (金)	8:50 - 9:00 オリエンテーション	13:00 - 14:30 (1.5) 講義 学校で活かせる作業療法的 視点
	9:00 - 10:30 (1.5) 講義 発達障害(神経発達症)とは 心身障害児総合医療療育センター 小児科 大澤 麻記	心身障害児総合医療療育センター 作業療法科長 藤江 泰子 14:40 - 15:40 (1.0) 講義 児童生徒を理解する -発達特性の視点から-
	10:40 - 12:10 (1.5) 講義 発達障害のある児童生徒のコ ミュニケーションの援助方法 心身障害児総合医療療育センター 言語聴覚科長 田中 伸二	心身障害児総合医療療育センター 臨床心理係長 山田 雄一 15:50 - 16:30 (0.7) ミニディスカッション
		16:30 - 17:00 (0.5) 講義 子どもが学校で安全に過ごす ためのケア 心身障害児総合医療療育センター 看護係長 伊藤 正恵
7月25日 (土)	9:30 - 10:30 (1.0) 事例検討 児への支援・繋ぎ方の検討 江戸川区教育相談センター 教育相談室統括相談員 小林 あきの	12:30 - 13:30 (1.0) グループディスカッション 13:40 - 14:25 (0.8) ディスカッション全体共有
	10:40 - 11:30 (0.8) 事例検討共有 教育相談の視点・教育相談について	14:30 修了 14:45 - 15:45 (1.0) 施設見学(希望者のみ)